



支援部だより



鳥取聾学校 たんぽぽ教室・さんさん教室・わくわく

令和7年2月21日

No.10

1.22 遠藤記念日特集

鳥取聾学校の初代校長である遠藤董(ただし)先生は、同じく鳥取盲学校の初代校長でもあり、鳥取県の女子教育、図書館設立などにも尽力された『鳥取県の教育の父』と呼ばれる方です。遠藤先生は、お誕生日と命日が同じ1月22日です。鳥取聾学校では、この日を「遠藤記念日」とし、遠藤先生を偲び、功績を称えています。今年も、講話、レリーフ清掃、初釜(茶会)、高等部3年生による常忍寺での焼香(お墓は、平成29年より京都へ移転)など恒例行事を行いました。



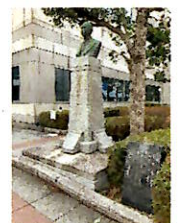
遠藤董先生 年表

1853年(嘉永6年)	生誕(鳥取市材木町)
1861年(文久元年)	8歳 聖徳館に入る
1872年(明治5年)	19歳 愛日小学校(湯所天徳寺)助教
1874年(明治7年)	21歳 官立広島師範学校入学
1885年(明治18年)	32歳 公立鳥取高等小学校校長
1902年(明治35年)	49歳 鳥取市教育会長就任
1907年(明治40年)	54歳 私立鳥取図書館館長就任
1908年(明治41年)	55歳 私立鳥取女学校校長就任
1910年(明治43年)	57歳 私立鳥取盲啞学校創立(栗谷町)校長就任
1911年(明治44年)	58歳 私立鳥取盲啞学校(寺町)移転
1912年(明治45年)	59歳 ろう部に表具科設置
1937年(昭和12年)	84歳 県立鳥取盲聾学校(湯所町)校長就任
1940年(昭和15年)	87歳 県立鳥取盲聾学校校長辞任
1945年(昭和20年)	92歳 永眠(鳥取市薬師町)
1967年(昭和42年)	鳥取市名誉市民称号を受ける



「生誕の地」石碑(材木町公園)

遠藤先生胸像(県立図書館)



「遠藤先生墓處」石碑(常念寺前)



「名誉市民称号」紹介写真
(鳥取市役所一階ロビー)

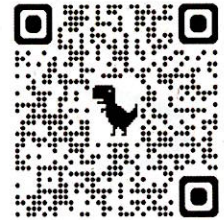


90歳の時の書「視聴只以真心」(視聴は只真心を以ってす)は、「(どんな高邁な理論や美辞麗句よりも)目の前の人に対して、ただ真心を以って視、聴くことこそ大切である」という、遠藤先生自身が貫いてきた人生訓を書にしたものと考えられる。※上記、年表と__部分は、『鳥取県教育の源泉 遠藤董』参考

写真家、文筆家、まんが家の齋藤陽道さんは、手話を大切なことばとして生きる「ろう者」が、どんな仕事をしているのか、ポートレート撮影とインタビューで紹介しておられます。「手話を言語として、自分の力で働く『ろう者』を知ってください」との齋藤さんのメッセージです。(下記の・・・の箇所は、中略です)【2/12 現在、vol.1 齋藤陽道さん～vol.34 島貫愛美さんが掲載されています】

ぜひ、齋藤さんの HP を下記の QR コードでご覧ください。

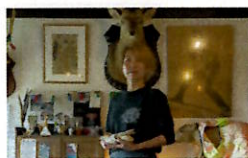
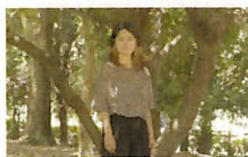
HP「働くろう者を訪ねて【齋藤陽道】こここ」を
紹介します



手話を言語とする「ろう者」であるべく自身も、高校生のとき、どんな仕事をしたいのかまったくイメージすることができませんでした。・・・それが今では、いろいろな縁がめぐり、写真家として仕事ができます。・・・しかも、いざ社会人として働きだして周りを見れば、弁護士、医者、格闘家、大工、漁師、理容師、俳優、プロスポーツ選手……じつに多様な職業に就いているろう者がいました。また、薬剤師やバス運転手のように、法律の改正によって、新しく就けるようになった職業もありました。・・・ぼくは。この掲載で「ろう者はこういう仕事もできるんだよ」と、仕事の様子を何枚も撮影するようなドキュメンタリーをしたいわけではありません。あくまで、「人間」が中心です。・・・その人の存在感を伝える1枚の写真の力を信じて、「21 世紀、こうして働くろう者がいた」という肖像を残していきたいのです。かつて、ぼくが欲しかったものは、手話を言語として、自分の力で働くろう者の存在を知ることができる本でした。・・・若いろう者たちに、もとい、後世に伝えるために、働くろう者たちの肖像を1冊の本にすることが最終的な目的です。

掲載する「こここ」は、ウェブメディアなので、新しい試みとして短い映像もつけています。インタビューの様子や、日常の様子をまとめたこの映像には、音声も字幕もテロップもありません。写真だけではわからない、その人の手話の使い方にしみ出てくることばの特徴を感じてもらうためです。

たとえ手話がわからなくても、そのリズムに目をゆだねてみてください。じわりと浸透する何かが、きっとあります。「こういう表情で話す人なんだなあ」と知ってもらった上で、写真を見てもらうと見え方がまた変わります。



珍しい職業に就いていたろう者をご存じの方、ぜひともご紹介ください。

齋藤陽道 連絡先 : saito.harumichi@gmail.com